

広島県をはじめ広島・山口両県にまたがる広島湾域6市16町の自治体と商工会議所・商工会で組織する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、海から見た都市づくりをめざす「海生都市圏構想」実現のため、共生・分担・交流・連携をキーワードに積極的な事業を展開しています。このコーナーでは、湾域各市・町の様々な情報を毎月ご紹介しています。



倉橋町

人口：「7,883人」
(平成14年10月末、住民基本台帳による)
面積：「54.44Km²」
町の花：「やまざくら」
町の木：「ねず」
キャッチフレーズ：
「人々が生き活きと交流するまち くらはし」

「宝島くらはし」へようこそ



温泉館

倉橋町は、呉市の南の瀬戸内海に浮かび、音戸大橋により呉市と結ばれている倉橋島の南部に位置し、大小11の島からなります。古くは長門島と呼ばれ、内海交通の要衝として、また造船の町として栄えていました。瀬戸内海国立公園に指定され、歴史的文化的遺産が多く、美しい自然に恵まれています。

遺新羅使が立ち寄り万葉集に詠まれた白砂青松の桂浜をはじめ、海の色、山の緑と自然の恵みが豊かで、町内各所に海水浴・スキューバダイビングなどのマリンスポーツや釣りを楽しむところが多くあり、特に日本の渚百選、白砂青松百選に選定された桂浜は、夏には多くのキャンプや海水浴客で賑わっています。また、桂浜周辺には平成7年に掘削した温泉を利用した温泉入浴施設のある「桂浜ふれあいセンター」が平成10年にオープンしています。

さらに、来春には健康増進と

日本では唯一の実物大の遣唐使船をはじめ、各展示室には、倉橋町ゆかりの古代から近代までの木造模型船や、造船・海上交通の歴史、海運技術などを紹介しています。また、倉橋町歴史民俗資料館には、かつての島の生活を知る民具や農具などのほか、倉橋沖より揚げられたナウマンゾウや日本カモシカの化石、古墳時代の土器などが展示されています。

古来より造船が盛んで、遣唐使船や秀吉の軍船が造られていたと言われており、その造船技術を紹介するとともに後世に残すため、平成4年には「長門の造船歴史館」がオープンしています。

変化する美しい入り江、火山頂上から見る瀬戸内の島々は特に絶景です。歴史的遺産や名勝も数多く存在し、なかでも桂浜は県史跡の小松原や、本殿が国の重要文化財に指定された桂濱神社、日本最古の洋式ドック跡があり、観光の中心となっています。

本町では、「万葉のふるさとづくり」を行うとともに、自然や環境にやさしいまちづくりを推進し、みなさんが訪れたとき、どこかふるさとに帰ったような、そんな自然にやさしく、心豊かで健康的な町づくりを進めていきたいと考えています。瀬戸内海の豊かな自然と文化・歴史を生かし、健康づくりと療養をテーマにした交流エリアとして、海生都市圏の魅力ある町として生まれ変わろうとしています。ぜひ、みなさんも「宝島くらはし」へおいでください。

リラクゼーションをテーマにした「屋内温水プール」が桂浜にオープンする予定です。

瀬戸内海の温暖な気候、穏やかな海に恵まれ、みかんを中心とした柑橘類の栽培やイワシ、チリメン、カキ、ワカメの養殖が盛んに行われています。農産物では、大根や枝豆、ネギ、ふきなどの野菜類やハウストマトが有名です。花卉類としてバラの生産も多く、また、古くから石材の町として知られ桜御影石をはじめとする花崗岩は、国会議事堂をはじめ、建築用石材として多く使われています。



鹿島の段々畑



屋内温水プール（仮称）のイメージパース

■倉橋町のイベント情報■

(平成15年)

初日の出マラソン	1月1日(祝)
倉橋町駅伝大会	1月13日(祝)
宝島くらはしフェスティバル	2月16日(日)

【問合せ先】

倉橋町役場企画課

TEL (0823)53-1111

E-mail : kikaku@town.kurahashi.hiroshima.jp